

令和2年度東海村健康づくり推進協議会会議録

1	開催日時	令和2年11月17日(火) 13時30分から14時30分まで
2	場所	東海村保健センター 検診ホール
3	出席者	【委員】 尾形孝委員, 橋本和彦委員, 東原裕治委員, 薄井尊信委員, 宮島榮子委員, 佐藤佳代子委員, 福地さか江委員, 高崎あす美委員, 塚原美光委員, 牛尾光宏委員 【事務局】 関田福祉部長, 古川健康増進課長, 千葉健康増進課長補佐, 平野係長, 鳥居係長, 北崎係長, 竹内係長
4	欠席者	伊藤勝夫委員, 埴真也委員, 相須博之委員
5	公開又は非公開の別	公開
6	非公開の理由	—
7	議題	1 令和元年度事業実績報告 2 令和2年度事業概要及び新規・重点等事業説明 3 第2次東海村健康づくり計画実施結果(村民アンケート調査結果報告書) 4 第3次東海村健康づくり計画(素案)説明
8	配布資料	資料1(資料1-1-1~1-4-2) 令和元年度事業実績 資料2・3 令和2年度事業概要及び新規・重点等事業について 資料4 第3次東海村健康づくり計画(村民アンケート調査結果報告書) 資料5 第3次東海村健康づくり計画(素案) 参考資料1 令和2年度 健康増進課組織 参考資料2 第3次東海村健康づくり計画策定事業の概要 参考資料3 新生児聴覚検査の概要 参考資料4 特別の理由による予防接種の再接種費用助成事業の概要 参考資料5 新型コロナウイルス感染症対策の概要
9	発言内容	議題 1) 令和元年度事業報告 (健康増進課・千葉課長補佐) ※資料1にもとづき, 事務局から令和元年度の事業実績を説明。(資料1については, 過去3年間の実績推移を掲載。令和元年度実績については, 平成30年度との比較増減を矢印の向きで表現) ※以下, 要旨のみ抜粋して記載。実績詳細は資料を参照 【平成30年度事業実績】 ※母子保健事業(資料1-1-1・1-1-2) ・従来, 乳幼児健診や育児相談等, 母子保健法に基づく事業を実施。 ・事業実績は全体的に出生数の減少に伴い実績減の傾向にある。さらに令和2年3月の各種検診・教室等については, 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため中止したことも実績減の一因となった。

※検診事業（資料 1-2）

・健康増進法に規定される 5 つのがんとして、胃がん・肺がん・大腸がん・子宮がん・乳がん検診についての受診率について、厚生労働省は受診率 50%以上を目標値として掲げているが、村では毎年 1 月に検診の申込みをとり、各種検診の実施時期に受診券を郵送し、村の検診を希望する人数を把握していることから、受診率の欄に「人口比」と「申込比」を記載している。

・厚生労働省の目標値は、人口比に対する受診率を基準としており、この目標値の達成には努力が必要な状況ではあるが、全てのがん検診も県内自治体の受診率の比較では、数年来上位を維持している。今後も、住民が受診しやすい検診体制を構築していく。

・がん検診及び特定健診等につきましては、村内では、尾形クリニック、村立東海病院の御協力の下、実施。受診者が自分の都合に合わせて医療機関で個別に受診する施設検診は、新型コロナウイルス感染症感染防止の観点からもニーズが高まっているため、引き続きご協力をお願いする。

※健康増進事業（資料 1-3）

・健康増進法に規定されている健康教育・食育事業及びその他一般事業の実績について。

・健康教育事業は、年齢や性別、目的別の講座を実施しており、参加者は増加傾向。

・事業No.9「総合健康相談事業」の実績 863 件は誤記のため、1,135 件に訂正をお願いする。数年 1,600 件前後で推移するが、令和元年度は減少傾向。

※予防接種事業（資料 1-4）

・予防接種事業は、予防接種法に基づく定期接種と予防接種法に規定されない定期外予防接種の 2 種類に分類。

・定期予防接種は、No.5～No.27 までとなり、定期 A 類については、対象者に接種義務が課されており、村から積極的接種勧奨を行う。定期 B 類は、接種の努力義務が課されていない。基本的には接種勧奨をしなくてもよい予防接種であるが、村は個別通知により接種率向上を図っている。

・事業No.1～4 の定期外予防接種は、村独自の助成事業。

・いずれの予防接種も、医師会の協力により医療機関における個別接種方式で実施している。

・今年度も 10 月からインフルエンザ予防接種を開始する。村内医療機関においては感冒流行期の診療増加に加え予防接種業務に対応いただくため、ご苦勞をお掛けするが、1 月末まで引き続きご協力をお願いする。

・今冬は季節性インフルエンザと新型コロナウイルスの同時流行に備えていただきたい。

【質疑・応答】

(薄井委員)

- ①資料 1 - 2 の事業No.3 「大腸がん検診」についての事業概要は肺がん検診の内容が記載されているが、「便潜血 2 日法」が正しい。
- ②受診者実績は、便潜血 2 日法の受診者をカウントしているのか。1 日分しか提出しない方もいるのか。
- ③平成 30 年度の受診率は例年に比べてかなり低下しているが、なにか考察はあるか。

(事務局)

- ①ご指摘のとおり誤記。大腸がん検診の検査方法は、便潜血検査 2 日法が正しいので訂正したい。
- ②受診者数は、便潜血検査 2 日法の受診者のみをカウントしている。ただし 1 日分のみ提出した方の検査結果は、1 日分のみで判定し受診者に通知している。
- ③平成 30 年度に受診者が減少した印象はなく、データの誤りと思われるので、確認して議事録送付の際に訂正した資料を添付したい。

(尾形会長)

議題 1 事業実績については、令和 2 年 1 月以降のコロナウイルス感染症感染拡大防止のため、実績が減少している旨の説明があったが、了承でよろしいか。

-議事内容については出席委員了承-

議題 2) 令和 2 年度事業概要及び新規・重点等事業について

【令和 2 年度事業概要について】(資料 2)

(健康増進課 千葉課長補佐)

- ・母子保健法、健康増進法、予防接種法等に基づき、各種事業を実施している。
- ・令和 2 年度の新規事業については、資料 2 の事業名の左側に★印を記載。新規事業については担当係長から説明する。

【令和 2 年度新規・重点等事業】 (資料 3)

※配付資料 3 にもとづき、各担当係長から各事業について概要説明

1. 第 3 次東海村健康づくり計画策定事業 (新規)

.....【参考資料 2・健康づくり担当・平野係長】

- ・第 2 次健康づくり推進計画の評価を踏まえ、令和 3 年度から令和 12 年度までの健康づくり計画として第 3 次計画を策定している。第 3 次計画の特徴として、東海村第 6 次総合計画における健康増進分野の個別計画に位置づけ、国の策定健康日本 2 1 第 3 次計画や第 3 次健康いばらき 2 1 計画の理念に基づく計画であり、さらに食育基本法に基づく東海村食育推進行動計画及び茨城県歯と口腔の健康づくり 8 0 2 0 6 4 2 4 推進条例に基づく歯科保健計画も含めた総合的計画とした。

・現在、全5回の計画策定ワーキング中、現在3回の協議を経たところ。今後のスケジュールとして残り2回のワーキングで協議し、1月25日から2月26日までのパブリックコメントを経て、計画書を公表していく。本日お示しした資料は素案であるが、パブリックコメントの時点で、改めて計画書素案を委員の皆様へ送付させていただき、再度ご意見をお伺いする予定。

2. 新生児聴覚検査助成事業（新規）

・・・・・・・・・・【参考資料3・健康づくり担当・鳥居係長】

・検査方法は初回検査・確認検査の各1回を対象とし、自動ABR3,000円、OAE検査は2,000円を費用助成する。令和2年度開始を含めて県内44市町村中31市町村が公費助成開始。

・資料は8月末までとなっているが、9月末までの実績について判明したため報告する。初回検査110名受診し確認検査6名受診中、5名がパスしているが、現在1名の結果は現在未把握。

3. ロタウイルスワクチン予防接種（新規）

・・・・・・・・・・【健康づくり担当・北崎係長】

・予防接種法改正により、令和2年10月から当該ワクチンが法定予防接種となり、全額公費負担とした。

・対象者は令和2年8月以降に出生した乳児。

・ワクチンはロタリック2回接種とロタテック3回接種の2種類となりそれぞれ生後24週又は32週までの乳児となる。

4. 新型コロナウイルス感染症対策（重点）

・・・・・・・・・・【参考資料5・健康増進課・千葉課長補佐】

・資料5-1は、村全体の感染症対策の一覧。

・村内発生は、現時点で11例となっているが、途中までは防災無線等でお知らせしていたが、第3波と言われる状況下、症例の増加により、広報とかいやSNS等での周知に切り替えたところ。

・防災無線放送後は問い合わせが殺到することを想定し、不安解消のためコールセンターを開設し、問い合わせに応じた。個人を特定するような問い合わせは少なく、また、ひたちなか保健所への問い合わせも他自治体に比べ少ない状況で、村民は非常に冷静な対応が出来ていると評価され、本部所管課としても安心したところ。

・令和2年3月末から、公共施設の閉館に伴い、施設利用上のガイドラインを作製し感染症の拡大防止に努めてきた。また国の動向に応じてイベントの開催に関するガイドラインも作製し、村民活動が再開できるよう努めてきた。

・役場窓口では、飛沫対策や職員の分散勤務等を行い、4月以降、役場庁舎での三密回避に努めてきた。

・参考資料5-2は村対策本部会議の経過一覧。1月31日の会議開催から、2月25日に対策本部を設置し、11月12日までに30回の本部会議

を開催してきた。直近の第30回本部会議では、新型インフルエンザ等対策行動計画に今般のコロナ対応に係る対応不足を追加して改定・決定した。

- ・最近、ワクチン接種のことが話題になってきているが、住民へのワクチン接種は村の事業となるので、滞りなく進めていく。

- ・参考資料5-3は経済対策等を示した。全家庭への水道料金の減免や商工業者への助成制度のほか、妊産婦へのマスクの配布や妊婦へのインフルエンザワクチン接種費用の助成を拡大した。

5. 特別の理由による法定外予防接種費用助成（新規）

・・・・・・・・・・【参考資料4・管理担当・竹内係長】

- ・骨髄移植等の医療行為によって、接種済の定期予防接種の効果が期待できないと診断された20歳未満の方の再接種の費用を助成する事業。

- ・現在申請者はなし。

【質疑・応答】

特になし。

-事業内容については出席委員了承-

議題 3) 第3次東海村健康づくり計画（村民アンケート調査結果報告書）について（健康づくり担当・平野係長）

- ・村民アンケート調査の実施について（資料4）

- ・2ページに調査概要について記載。第3次健康づくり計画策定にあたり、村民の健康や食生活に関する意識や関心、生活習慣等の調査を行い、第3次計画の基礎資料として活用することを目的に実施。

- ・対象は①16歳～75歳までの住民2,000人（無作為抽出）、②村内小・中・高・中・高 576人。

- ・調査期間は①が令和2年5月7日から5月22日、②が令和2年5月7日から6月1日まで。政府による緊急事態宣言による自粛期間を含んでいるため、その影響が出ている可能性がある。

- ・①は郵送・返送回収、②は学校での配付・回収により実施し、1,331件を回収した。

- ・回答結果は、資料参照。

議題 4) 第3次東海村健康づくり計画（素案）について・計画素案について（資料5）

- ・第1章から第5章までの構成。第1章は策定経過について、第2章は全計画の評価を含む現状と課題について、第3章は目標及び取り組みの方向性について、第4章は推進と評価について、第5章は資料編となっている。

- ・P34以降に、第2次計画の達成状況と評価を掲載した。達成状況をA・B・C・Dで判定。健康づくり推進計画は14項目中11項目がA

またはB（合計79%）で「順調」又は「概ね順調」となったが、健康づくりのボランティア育成が未実施となっており、第3次計画で取り組んでいきたい。

・食育推進行動計画の39項目中34項目がAまたはB（合計87%）となった。「喫煙が歯周病に悪影響があると思う人の割合」で「努力が必要」な項目となった。第3次計画では、歯科保健計画も含む計画となっているので、喫煙や歯科口腔に関する事業は、今後も継続して取り組んでいくと評価した。

・P39以降は、東海村の現状と課題と第2次計画の評価を踏まえ、5つの分野の基本方針及び分野別の取組方針を掲載した。計画体系図は61ページを参照。

・計画の基本理念は「誰もがいきいきと暮らすことのできるゆとりと安らぎのまち」の実現を図ることとし、副題として「健康寿命の延伸と健幸感の向上を目指して」を掲げた。

・計画の具体的な成果指標として、健康寿命延伸と「自分は健康だと思う人の増加」を目指して、その実現のために地域住民や関係機関と共に健康づくりを推進していく。

・具体的取り組みは5つの分野とし、第2次計画推進上の課題であった「減塩に取り組む人が増える」「健康づくりを担う人材を育成する」を重点目標とした。

【質疑・意見】

（牛尾委員）

①資料4の村民アンケート調査結果報告書にもあるが、アンケート調査票が外国人対応となっていなかったという指摘があったが、在住外国人はどのくらい在住しているのか。

②日本語以外に対応が必要な方も増えていくので、対応が必要と思われる。

③P15の「人口動態の推移」に関する説明中「社会減」に関する定義が誤記。

④計画については、アンケート結果等を踏まえて策定しており、統計データ等をさらに活用した構成になるとよいだろう。

（事務局）

①外国人は、令和2年11月1日現在で人口約38,000人中258人在住。

②外国人対応に関しては、サービスの利用頻度が高い母子保健分野の資料から対応を開始しているところ。

③「転出数が転入数を上回っている状態」に訂正。

-議事内容については出席委員了承-

議事終了 閉会

10 結果	議題1・議題2・議題3・議題4について出席委員了承。
-------	----------------------------